

第二十七回帝國議會 院 國稅徵收法中改正法律案委員會會議錄(筆記)第二回

會議

明治四十四年一月二十七日午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

德田 讓甫君 大井 卜新君 丹尾 賴馬君
根岸 峯太郎君 古野 孫太郎君 國井 庫君
石田 平吉君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主稅局長 菅原 通敬君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國稅徵收法中改正法律案

○委員長(大井卜新君)ハ開會ヲ宣告ス

○根岸峯太郎君ハ本案提出ノ理由ハ本會議ニ於テ陳述シタルカ故ニ茲ニハ之ヲ省ク
コト、シ先ツ本案ニ對スル政府ノ意見ヲ聞カンコトヲ願フト述フ

○政府委員(菅原通敬君)ハ本案ハ地租ニ對シテモ他ノ國稅同様交付金ヲ與ヘントス
ルモノナルカ元來地租ト他ノ國稅トハ大ニ其ノ趣ヲ異ニスルモノニシテ市町村カ義務トシ
テ地租ヲ徵收スルハ近年ニ始マリタルモノニアラス古キ歴史ヲ有スルモノナリ即チ地租以
前ニ於テハ地租ハ國ノ正租ニシテ俗ニ之ヲ御年貢ト稱シ納稅人自ラ之ヲ御上ニ持參シ
テ上納スヘキモノトセリ今ノ市町村長即チ昔ノ莊屋又ハ村役人ハ納稅者ヨリ地租ヲ集
メ納稅者ニ代リテ之ヲ御上ニ上納スヘキモノニシテ、市町村ノ義務トシテ當然爲スヘキ
モノナレハ政府ヨリ手數料其ノ他交付金ヲ受ケテ爲スヘキ觀念ハ毫モアラサリキ、個ハ我
國固有ノ美風ニシテ飽クマテモ尊重シ保持スヘキモノナリ、所得稅營業稅ノ如キハ、新ニ
徵收ノ義務ヲ命シタルモノナレハ之ニ向ッテ相當ノ交付金ヲ與フルコトナリタルナリ、即
チ地租ト他ノ國稅トノ間ニハ大ニ沿革上ノ理由ヨリ異ニス、加之本案ノ如クスルトキハ新
ニ三百萬圓内外ノ歲出ヲ要シ國庫ノ負擔ヲ增加スルコトナル故ニ財政上餘裕ナキ今
日ニ於テハ到底實行スヘカラサルコトトス、從ッテ本案ニ對シテハ政府ハ全然同意スルコ
ト能ハザルナリ然レ始ク過去ノ歷史沿革ヲ離レ現在ノ事實ニ付テ之ヲ見ルニ、或稅ニ
對シテ交付金ヲ與ヘ或稅ニ對シテ之ヲ與ヘサルハ事實不公平ナルヲ免レサルヲ以テ若シ
新ニ國庫ノ負擔ヲ增加スルコトナクシテ他ニ適當ノ矯正方法アリトセハ政府トシテモ之
ニ反對スルモノアラズ只三百萬圓内外ノ多額ノ犧牲ヲ拂ッテ迄モ矯正セサルヘカラスト云フ
必要ヲ認メサルニ歸著ス然ラハ國庫ノ負擔ヲ增加セシテ此ノ不公平ヲ矯正スルノ方
法アリヤト云フニ現在國庫ノ支出スル百六十七萬圓ノ市町村交付金ヲ適當ニ各稅ノ
間ニ分配スルノ方法ヲ採ルトキハ能ク其ノ目的ヲ達シ得ヘシ然レトモ此ノ方法ヲ採ルニ
シテモ現行ノ如ク又本案ノ如ク單ニ市町村ノ徵收金額ニ比例シテノミ交付スルトキハ
不公平ナルヲ以テ交付金ノ標準ハ徵收金ト納稅告知書數トノ二者ニ取ルノ必要アリ
同シク十萬圓ノ稅金ヲ徵收スルニモ一八ヨリ一口二十萬圓ヲ徵收スルト一圓ツ、十

萬人ヨリ徵收スルト非常ノ相違アルカ故ニ納稅告知書數ヲ交付金ノ標準ニ加フルト云
フハ最モ必要ノコトナリ徵收金額ニ幾何ノ割合ヲ持タセ納稅告知書數ニ幾何ノ割合ヲ
持タスコト適當ナリヤト云フコトハ別ニ計算セルヲ以テ參考ニ供スルモ可ナリ又他ノ一點
ハ納稅期內ニ納稅セサル者ニ對シ一定ノ割合ニテ延滞金ヲ徵收スルノ制度ヲ設クルコトナ
リ現行法ニ於テハ納稅期內ニ徵收シタル稅金ニ對シテハ交付金ヲ與フルモ納稅期ヲ經過シ
テ納稅シタル稅金ニ對シテハ假令市町村ニ於テ納稅告知書ヲ發布其ノ他徵收ノ手續ヲ
盡シタリトモ之ニ交付金ヲ與ヘサルナリ之ハ當然ノコトナリトス故ニ市町村ニ於テハ成ル
ヘク納稅期內ノ徵收ヲ圖リ當然受クヘキ交付金ヲ受クルコトヲ期セサルヘカラスト就テハ納
稅期ヲ經過シテ納稅スル者ニ對シテハ一定ノ割合ニ應ジテ延滞金ヲ徵收スルノ制度ヲ設
ケ納稅期內ノ完納ヲ督勵スルコト云フコト必要ナリトス之ハ交付金ニ對スル延滞金徵收ノ
制度ノ利益ノ點ヲ見タルモノナレトモ延滞金ノ徵收ノ制度ヲ設クル必要ハ租稅制度ノ
上ヨリ最モ大ナルモノニシテ近來租稅ノ負擔中ニ重ク國民ハ之ヲ納付スルニ付テ大ナル
苦痛ヲ感シ正直ナル者ハ苦痛ヲ忍ビテ眞面目ニ納稅期內ニ完納スルニ拘ラス或者ハ怠慢
ニ因リ或者ハ故意ニ延滞シ甚シキニ至リテハ稅金ノ日歩ヲ計算シテ特更ニ延滞金ヲ納付
分トシテ收稅官吏ノ出張シタル場合ニ現金ヲ提供スルカ如キ者アリ此ノ種ノ者ハ比較的
多額ノ稅金ヲ納ムル者ニシテ納稅實力ノ大ナル者ニ多ク此ノ惡風ハ年々追ッテ増加スル
傾向アリ實ニ嘆スヘキコトナリ斯クノ如ク一方ニハ正直ニ納稅期內ニ稅金ヲ納ムル者アリ他
方ニハ故意ニ稅金ヲ延滞スル者アリトセハ雙方ノ間ニ甚シク負擔ノ不公平ヲ來スニ至ルヲ
以テ此等延滞者ニ刺戟ヲ與ヘテ納稅期ヲ重シムル同時ニ延滞金ニ因リ負擔ノ不公平
ヲ矯正スルカ爲一定ノ割合ノ延滞金ヲ徵收スルコトハ最モ必要ナリトス即チ延滞金ハ
一ハ制裁的意味ヲ含ミ一ハ遲延利息ノ意味ヲ含ムモノナリ、要スルニ本案ハ其儘ニ於
テハ政府ハ之ニ反對セザルヘカサルモ若シ以上述フル所ノ趣旨ヲ以テ本案ヲ修正セザ
ル、ニ於テハ之ニ同意スルモノナリト述フ

○國井庫君ハ政府委員ハ市町村カ其ノ義務トシテ地租ヲ徵收スルハ改租以前ヨリノ
歷史ニ因リモノナリト云ヘリ改租以前ニ於テモ尙地租ト他ノ國稅トノ間ニ區別アリシヤ
ト問フ

○政府委員(菅原通敬君)ハ改租以前ニ於テハ地租ト他ノ國稅トノ間ニハ區別ナカリ
シモノト信ス尤モ當時ニ於テハ地租即チ國稅ニシテ地租以外ノ租稅ナルモノハ僅カニ
徵々タル雜稅位ニ過キサリシヲ以テ地租以外ノ租稅ノ賦課徵收ニ付テハ算スル程ノ勞費
ヲ要セサリシモノト思フ、所得稅營業稅ノ如キハ從來ナカリシモノヲ新ニ加ヘタルモノナレ
ハ其ノ徵收ニ要スル經費ヲ償フコト爲ルモノナリト答フ

○國井庫君ハ外國ニ於テハ市町村ニ國稅徵收ノ義務ヲ負ハシメ之ニ交付金ヲ與ヘサ
ルカ如キ實例アリヤト問フ

○政府委員(菅原通敬君)ハ外國ハ各其ノ制度ヲ異ニスルカ故ニ一概ニ言ヒ難シ市
町村ヲ命シテ徵收セシムルモノモアレハ、稅務署ニ於テ直接ニ徵收スルモノモアリ市町村

ニ徵集ヲ命スルモノニ付テハ大概交付金ヲ與ヘ居ルト思フ併シ是レハ國體及歴史ノ異ル我國ニハ採テ學フヘキモノニアラス我國ニハ前述ノ如ク他國ニ比類無キ善良ナル美風アルヲ以テ此ノ美風ハ之ヲ尊重シ保存スル必要アルト思フ旨ヲ答フ

○國井庫君ハ現行ノ交付金ハ市町村ニ於ケル國稅徵收ノ實費ヲ償ヒ居レリヤト問フ
○政府委員(菅原通敬君)ハ市町村ニ依リテ異ルカ故ニ概括シテ言フコト能ハサルモ市ニ於テハ實費ヲ償フテ餘リアリ町村ニ於テハ町村ノ負擔ニ屬スルモノ多キ實況アリ尤モ若シ現行ノ交付金總額百六十七萬圓ヲ各稅ニ適當ニ分配スル如キ方法ヲ採ルトキハ市町村ノ間ニ平均スルコトナリ同時ニ總體ニ於テ實費ヲ償フコトヲ得ルノ目算アリ即チ現在市町村ニ於テ徵收スル租稅ニ對シ徵收金百圓ニ付一圓納稅告知書一通ニ付一錢二厘ノ割合ヲ以テ交付金ヲ配當スルトキハ恰モ現在交付金ノ總額百六十七萬圓ニ達シ殆ト増減ナキ計算ヲ得ルコトナルモ納稅告知書一通ノ實費ハ一錢未滿ナルヘキカ故ニ一錢二厘ヲ得ルトキハ實費ヲ償フテ尙餘リアル計算トナルヘシ而シテ徵收金額百圓ニ對シ一圓ヲ與フルハ現金取扱ノ手数料危險ノ保險料等ニ相當スルモノナルカ故ニ實際ニ於テ實費ヲ償フコトナルヘシト答フ

○古野孫太郎君ハ政府カ今日ノ場合國庫ノ負擔ヲ増シテ迄モ交付金ノ公平ヲ計ラサルヘカラサル程ニ急切ナル必要ヲ認メヌト云フコトハ一應理由アル主張ト思フモ昨年建議案審議ノ場合ニ於テハ必スシモ國庫ノ負擔ヲ増スノ方法ニ依ルヲ要セス交付金ノ公平ヲ期スルヲ得レハ足レリトノ趣意モ含マレ在リシ故政府ニ於テ若シ現在ノ交付金ノ範圍內ニ於テ公平ヲ期スルノ方法アリトセハ何故ニ之ヲ提案ヲ爲サルカ何故ニ政府ハ衆議院ノ建議ヲ閑却シタリヤ次ニ若シ此ノ改正案ヲ成立スルモノトシ之ヲ明治四十四年度ヨリ施行スルモノトセハ市町村ノ財政計畫ニ支障ヲ生セサル見込ミナリヤ又國稅タル地租ノ徵收ニ付テモ交付金ヲ市町村ニ與フルモノトセハ府縣稅タル地租附加稅ノ徵收ニ付テモ交付金ヲ與フルヲ相當ナリト思フ政府ハ府縣稅徵收ニ關スル勅令ヲ改正スルノ意思アリヤ否ヤ

○政府委員(菅原通敬君)ハ政府ニ於テハ衆議院ノ建議ハ決シテ閑却セス種々調査ヲ重ネ居タルモ徵收法ヲ改正スルコトナレハ尙他ニ幾多ノ改正スヘキ條項アリ之カ研究ニ遲延シ從テ未タ改正案提出ノ運ニ至ラサル場合ニ於テ議會開會劈頭ニ本案ノ提出ヲ見ルニ至リタリ本案ニ對シ政府ノ意見ノ通り修正ヲ加ヘラレ成立スルモノトセハ或ハ政府ハ改正案ノ提出ヲ要セサルコトナルヘシ次ニ本案ガ明治四十四年度ヨリ施行セラレモノトシテ市町村財政ニ支障ヲ來ササルヤ否ヤノ點ニ付テハ若シ本案カ市町村ノ間ノ收入ニ變動ヲ生スル結果ヲ惹起スルニ至ルトキハ收入ヲ減スル市町村ニ於テハ其ノ收入補填ノ計畫ヲ立テサルヘカラス自然追加豫算ノ計畫ヲ必要トスヘシ又府縣稅タル地租附加稅ノ徵收ニ付テモ交付金ヲ與フルヲ可トスルヤ否ヤハ本案トハ全ク別個ノ問題ニ屬ス本件ハ內務省ノ主管ニ屬スルカ故ニ之ニ關スル意見ヲ陳述スルコトヲ避クヘシト答フ

○根岸峯太郎君ハ政府ハ地租名寄帳ノ調製及整理ヲ以テ國稅タル地租徵收ノ爲ニノミ必要ナル事務ト見居ラサルカ如何ト問フ
○政府委員(菅原通敬君)ハ地租名寄帳ハ地租徵收ノ爲メニ特ニ調製シ整理スルモノナルニ相違ナキモ土地ノ事務及地租ノ事務ハ市町村行政ニ於テハ廢スヘカラサル性質ノモノニ屬スルカ故ニ假令國稅タル地租徵收ノコトナシトスルモ何カ之ニ代ルヘキモノヲ調製整理スルノ必要アルヘク要スルニ地租名寄帳ハ直接ニハ國稅タル地租徵收ノ必要ニ依リ調製整理スルモノナレトモ間接ニハ市町村ハ地租名寄帳利用ノ便宜ヲ有スルモノナリト謂フヘシト答フ

○委員長(大井卜新君)ハ次會ハ公報ヲ以テ通知スル旨ヲ告散會ヲ宣告ス
于時正午十二時